

輝く市民が暮らすまち 飛驒高山の実現に向けて



謹賀新年

高山市長 田中明 新年の抱負「前進」

私たちの日々の暮らしの中には、
いろいろな苦難や心配、不安があります。
そんな皆さんの暮らしを少しでも
前進させられる年になるようにと
願いを込めました。

明けましておめでとございます。

市民の皆さまにおかれましては、健やかに新年をお迎えのこと
と心よりお慶び申し上げます。

昨年は、私の不徳の致すところにより、皆さまの信用と信頼を
損なう行為を行いましたことに対し、深くお詫び申し上げます。
改めて自らを律するとともに、今後の市政運営に全力で傾注し、
一日も早く皆さまの信用と信頼の回復に努めてまいります。

さて、昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症により
ましたが、海外からの入国制限も撤廃されるなど、感染防止対
策を徹底しながら社会経済活動も進めていく「ウイズコロナ」の
一年でありました。また、3年振りとなる春と秋の高山祭や飛驒
高山ウルトラマラソンの開催、J・R東海の新型車両の運行など、
まちに賑わいと活気が少しずつ戻ってまいりました。加えて、5年
に1度の和牛日本一を決める大会「全国和牛能力共進会」では、
前回を上回る結果を残し、「飛驒牛」の存在感を全国に大いに示
していただくとともに、将来に希望をつなぐことができる兆しが見え
てきたように感じています。

私たちが暮らす日本一広い高山市には、それぞれの地域に多
様な自然や伝統文化、食文化などの魅力ある地域資源が数多く
存在します。その地域の魅力にしっかりと光があたるよう、今一
度、地域の特色を活かしたまちづくりを進めるのに併せて、地域
の若者の思いや考えも大切に、若者の自主的な活動を支援す
る仕組みと環境づくりを提供し、子育て世代を含めて若者がワ
クワクするような取り組みを形にできるような本格的に進めてま
いります。

私が市長に就任してから4カ月が経とうとしています。私が
市政運営を担うにあたって大切にしたいことは「飛驒高山への思
い」で、皆さまが「このまちに生まれて良かった、働いて良かった、
暮らせて良かった」と思えることです。そのような思いを持つ人
が多いまちは、住む人が幸せであるとともに、「訪ねてみたい、暮
らしてみたいまち」になり、多くの人とつながっていきます。

本年の干支は、兎(うさぎ)です。皆さまと一緒に兎のように力
強く飛躍できる一年にしたいと考えています。「輝く市民が暮ら
すまち飛驒高山」の実現に向け、常に皆さまの思いに寄り添って、
さらにジャンプアップできるよう、取り組んでまいります。

結びに、これから始まる本年が、市民の皆さまにとつて輝かし
い一年となることをお祈りし、新年のごあいさつとさせていただきます。